

(後輩にすすめたい講義)

○専門科目

コース	講座群	教官名	講義題目
地域文化	日本研究	深 萱	日本文芸思潮史
		中 川	日本現代文学演習 日本現代文学研究 日本古典文学研究
	アジア研究	小 林 丸 山 鈴 木 岩 田	中国近現代史研究 東南アジア民族学演習 中国文明論(旧中国の古典学) アジア宗教社会学(集中講義)
		伊 藤 岩 田	中国文化論B(集中講義) インド民族学研究(集中講義)
比較文化	英米研究	藤 本	イギリス地域研究
	比較文化	金 田 ?	美 学 文化交流論(集中講義)
社会文化	共 通	芝 田	社会科学方法論
	I 群	山 田 伊 藤	現代国際政治論 法社会学I・II
情報行動科学	情報基礎	天 野	発 生 情 報 学
		前 田 正 法 地	計 画 数 学 プログラム通論II
	人間行動	西 山 菊 地 安 田	社会心理学(交通心理学) 筋 組 織 学 行 動 科 学 演 習
		小林・菊地 宗岡	行動生理学実験
環境科学	II 群	日 高	動 物 行 動 学
		福 岡	大 気 環 境 学
	IV 群	武 森 倉 石 根 平 津 端	分 子 生 物 学 環 境 生 理 学 植 物 系 統 学 都 市 環 境 学

す す め た い 理 由

<p>「白樺派」を中心にした授業であり、先生自身の問題意識を述べられながら、固定的でなく常に進行形でその評価をされた点。自分自身も能動的な姿勢で聴講できた。</p> <p>授業は北村透谷・二葉亭四迷でした。日本の近代文学黎明期の彼らの生き方、主張は百年経た今、尚訴えるものがあつた。自分の問題意識にあわせて頑張ってください。</p> <p>小人数で行われ、直接先生と意見を交換できるし、先生自身にも魅力がある。</p> <p>こんなに授業に対して熱心な先生はいない。</p>
<p>先生の授業は非常に個性的であり、人生についていろいろ考える材料を提供して下さるから。</p> <p>他の講義にはない厳しさがある。</p> <p>学問の根本姿勢（方法）を教えてくれる。</p> <p>アジア、特にインド、ヒンズー社会における精神的な豊かさ、安定感、有機的社会的存在を社会学的、文化人類学的な見方を通して述べられ、またその講義の進め方が非常にユニークで大変興味深かった。</p> <p>総合科学部の意義を教えてくれ、“個の確立”を啓示してくれた講義（最高級の講義でした）。</p> <p>雑談90%の中に、研究者としての姿勢と思想基盤、個性的な問題意識が溢れ、一聴に値する。</p>
<p>イギリスの地方都市の風俗を交えながら、イギリス人の国民性について多種多様なエピソードを聞かせてくれるし、先生の人間性が一段と魅力的である。</p>
<p>ドイツ語をびっちり鍛えられる。しんどいが、やれば力がつく。</p> <p>自分の興味ある分野についての講義であった。</p>
<p>自分の説に確信をもたれており、独自の講義をして下さる。</p>
<p>非常に程度の高い授業ですから、よく復習しながら聴講して下さい。</p>
<p>内容は生物の基礎をしっかりとやっていないと難しい。授業の中で、先生自身の物の見方、考え方が聞け、私の研究にとって大変参考になった。先生の人柄も魅力。</p> <p>興味を持てる内容であり、なごやかな授業の雰囲気が良い。</p> <p>情報行動では必修ですが、単位のためでなく、熱心に聴講されることをお勧めします。行動系でも、計算機を用いなくてもはどうしようもないことがあるからです。</p>
<p>ドライバー諸君よ、西山先生の講義を聞いて交通倫理を確立させたまえ。</p> <p>講義以外に、先生の話や学生のスピーチなどがあり、それがおもしろく参考にもなる。</p> <p>既存科目のうち、数少ない総合科学部らしい科目。</p> <p>文句なく楽しい（ただし一週間毎のレポートあり）。カエルの嫌いな方には勧めにくいですが、哺乳類と違って、血が出てもあたたかくないということが実感できる。</p> <p>話題が豊富で、楽しく興味津々で授業を受けた。</p>
<p>“環境科学”を強く意識して講義される貴重な授業でした。日常生活に密着した気象現象等がわかりやすく講義されたから。</p> <p>総科に来て良かったと思わせるこれからの学問のあり方を話されたから。</p> <p>環境科学のあり方を示唆した興味深い講義だから。</p> <p>陸上の植物の起源についておもしろく、理解しやすく講義して下さい。</p>
<p>環境科学の立場にたった講義で、環境科学に対する初歩的な取り組みがわかった。</p>

○一般教養科目, その他

	学部	教官	講義題目	すすめたい理由
一般教養	総合科学部	中川	中国語	厳しいが、鋭く問題意識を喚起された授業だった。 先生独特の哲学観を巧みな話術によって、興味深くお そわり、楽しい授業である。 生態学の基礎をわかりやすく説明された。 エネルギッシュで、学問に対する先生の確固たる研究 姿勢に共感を覚えます。 生命の尊厳について感銘を受けた講義です。 50年、51年度に開講された講義「環境科学」を創って いくという意欲に満ち、多数の先生がこれに熱意を注 がれたはずである。現在それが開講されていない事実を 十分考慮すべきである。
		久野	哲学	
		根平	生態学 進化学	
その他	総合科学部 教育学部 法学部	兼田	細胞生物学	学生にとって良い意味で自由にできる体育実技。 親となる私達には次世代を育てる上で不可欠の学問。 附属の生徒達が先生。金がなくても無理して行こう。 デモシカでなく、真に先生になりたい人に勧めたい。 前の司法試験委員でいらっしまったそうで、その要領 を得た講義は、大変良かった。
		菊地	体育実技	
		杉之原	教育心理	
		名和	教育実習	
		森下	教育行政実地研究 刑法II	

(ロ)講義全般に望むこと

- アンケートより要約
- 外書講読をもっと多く開講してほしい。また、興味ある分野については小人数での授業を。
 - 講義の下手な先生が多い(例外もあります)。
 - 二単位のコマ切れ授業に不満あり。専門は一期四単位(週二回の授業)制にしてほしい。
 - 精神分裂症的講義の体系を、早くまとまりのあるものにしてもらいたい。(同意見多数)
 - その目的・意義不明の講義とか、題目と内容が一致せず、純粋基礎学問のままで終るものが多い。
 - 先生の自己中心的な発想による講義より、学部の将来を考えた進歩的な見地からの講義を。
 - 現在問われているいわゆる「環境問題」を扱った講義がほしい。
 - 目的別にその講義がどんな役に立つかわかるように、講義を編成するといったカリキュラムの再考が必要だと思う。
 - 講義全般の質を高めてほしい。
 - 広い視野から各学問分野の位置づけを行なえるような講義を。
 - 先生方が個性を十分に発揮されるような講義を。
 - 総科にない基礎的な講義のためにもっと他学部の授業を利用できるようにしてほしい。

- 必須の科目(単位)が多すぎる(学生の主体性を削ぐひとつの要因では?)。
- 学問に対する情熱が聞いている学生だけでなく、先生方にも感じられない講義がある。
- 専門の授業と一般(他学部の)の区別を。
- 副専攻(地域文化)は学生にとって負担であり、廃止されて良かった。
- 人気があった集中講義は、毎年確実に続けてほしい。(但し、集中講義に頼らざるを得ないのは、既存の講義に問題があるのでは…?)
- 知識の切り売りの講義反対。
- レポートの締切りを含めて、時間にルーズな講義が多い。
- フィールド・ワークの機会をもっとふやしてほしい。
- 実験はもっと余裕のある内容と時間配分を。
- 1・2年での指定授業が多すぎる(環境科学コース)。
- 物理系、化学系、生物系、地学系といったモデルカリキュラムを示し、あとの選択は学生にまかせるべきだ。
- 集中講義、教育専門科目は休暇中、土曜の午後を避けた日程にしてほしい。

- 専門が同じ時限に重複するといった講義割りは、未然に考慮していただきたい。
- 試験は丸暗記よりも内容のある出題を。
- 休講の多いもの、昔のノートで試験にまにあうような講義はおもしろくない。
- 試験答案の返却、正答がないので、自分の成績をどう考えてよいかかわからない。
- 総合科目の内容の充実を。
- 先生方には、自分の専門にとらわれず、もっと学生と共に学んでいく姿勢もほしい。

開講してほしい講義

- 地域文化
 - 中近東・アフリカに関する講義、宗教学的要素を含んだ講義、ロシア文学に関する講義
 - ラテンアメリカ地域研究演習（佐藤教官）
- 社会文化
 - 行政学、政策科学、社会保障論、近代経済学原論
 - 開発と地方自治に関するもの
- 情報行動科学
 - 数理論理学、言語処理、アセンブラ、数値解析、電気関係の講義、発生生理学、精神身体医学（その他医学・生物学関係のもの）、サイバネティクス、数理心理、社会ゲーム理論、人工知能論、シミュレーション論
- 環境科学
 - 環境六法、環境アセスメント、環境行政、環境管理、生態利用、自然災害・環境保全（実地にやっている人による集中講義）
- その他
 - 保健体育演習、朝鮮語、教育法



今いちばん言いたいこと

地域文化コース

▶匿名

総合科学部が学部としてのカラーを早く打ち出すこと、その為には、新設学部であるハンディを乗り越える努力がなされなければならない。具体的には、何といても学部としての実績、即ち、卒論などで良いものを出す以外にないであろう。（残念ながら個人的には私の卒論はさほどではない）後輩には、これを期待する。卒論の粗稿を三年終了時までにはまとめるぐらいの心がまえがあればいいと思われる。

▶小西 聡

くれぐれも、講義に縛られてしまわぬように。自発的な問題意識を育成、発展させていく上での「自由」が保障されている点が、総科の最大の特徴。

▶匿名

- できるだけ早い時期に自分というものを直視し、大学でいったい何がやりたいのか、何をなすべきかを明確にすること。
 - まわりに流されるままに“自分”を見失ったままに盲滅法に走り出さないこと。
 - まわりに流されてはいけなけれど、回りの人々から吸収できる面は吸収し、良い意味での影響を受けるべきであること。
 - そうして、ひとりの人間としての自分（個人）を形成していくこと。
- 以上は、ついに“自分”というものを持ち得ずに、常に浮雲の如く大気の流れに身をまかせ、それでいてこれでいいのだとむりやり自分を納得させつつ一応がんばってきた、その4年間を絶対に否定はしたくないけど悲しい哉、肯定もできないという深いジレンマに落ち込んだ私の反省です。

▶匿名

4年間、自分の入っている学部の内容の説明をしなくてはならないため、総科の知名度の低さがいやげがしてきた。

▶匿名

自分が一人の人間であること。そして日本人であること。自分であること。人類は“類”として共通項をもつ。即ち言語をもつこと、火・道具を使うこと、社会生活における法と制度を持つこと、超自然的な力に対して信仰